

# 取付説明書

Digilock®

## ASPIRE 電子錠

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。  
取付後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

### 本製品について

- 暗証番号やカードキー※<sup>1</sup>で施解錠する家具用の電子錠です。
- ラッチやデッドボルトの取付方向を変えることで、左右どちらの開き方にも対応できます。
- ロックユニットが電池切れしても、別売のマスターキーやプログラムキーが外部電源になるので、扉を壊さずに解錠できます。

※<sup>1</sup> Felica( フェリカ )、Mifare( マイフェア )  
例 .Suica,PASMO など

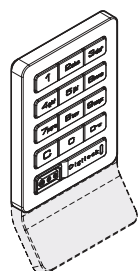
### 取り付けできる扉

取付仕様	面付け
扉厚	0.2 ~ 31.2 mm

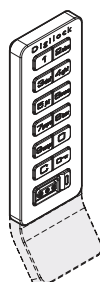
### 部品一覧

#### ①フロントユニット

テンキー (K) タイプ

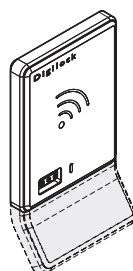


スタンダード  
タイプ



スリム  
タイプ

カード (R) タイプ

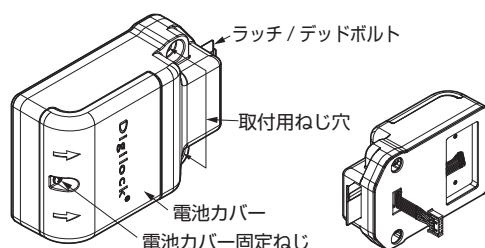


スタンダード  
タイプ

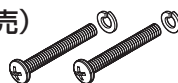


スリム  
タイプ

#### ②バックユニット

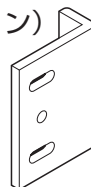


#### ③ねじセット(別売)



#### ④L型受座(オプション)

取付ねじは、お客様手配



### キー (別売)

各種登録作業については、別冊の「操作説明書」に従ってください。

※<sup>2</sup> バックユニット電池切れ時の外部電源にもなります。

プログラムキー(黄色)※<sup>2</sup>



マスターキー(黒)※<sup>2</sup>



ユーザーキー(青)



### 正しく安全に取り付けていただくために

⚠ 警告・注意    ⚡ 禁止    ! 厳守

#### 注意

軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。



- 各種登録作業については、別冊の「操作説明書」に従ってください。
- バックユニットの電池残量が少ないと、施解錠時に「ピピピッ」という電子音が2回鳴ります。すみやかに電池を交換してください。

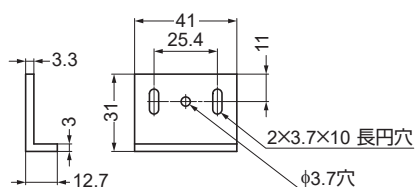
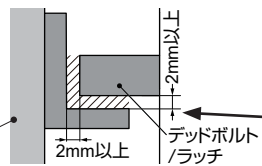
## 扉の納まりと加工寸法

### ⚠ 注意

- ❶ 丁番の位置調整後、デッドボルト/ラッチが受座や枠に接触しないよう、バックユニットを取り付けてください。斜線部は空きスペース（推奨隙間 2 mm 以上）。

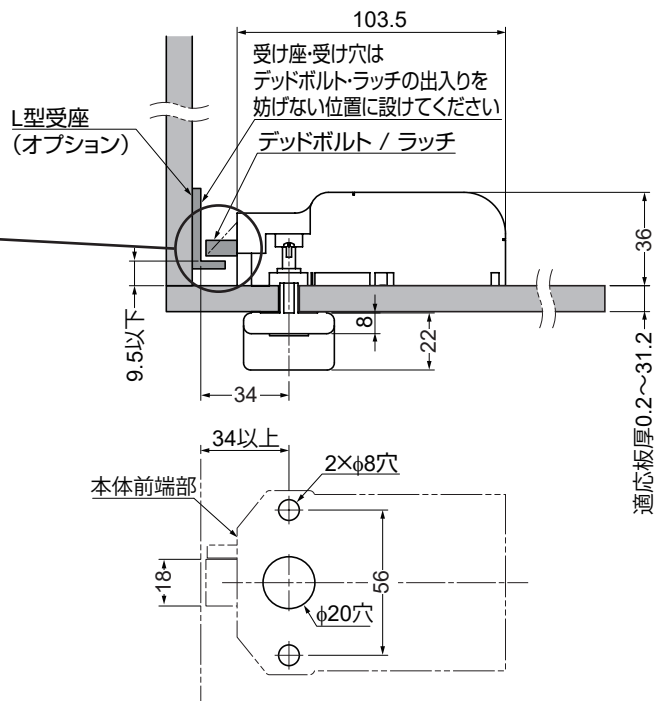
接触は故障の原因になります。

L 字受座



### ⚠ 注意

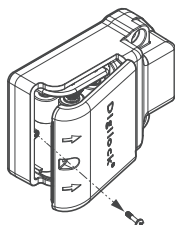
- ❶ 長穴 2 ケ所で位置を調整した後、丸穴をねじ止めて固定してください。



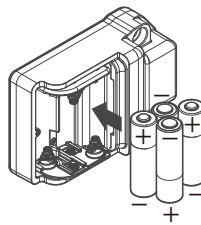
## 電池の挿入

### バックユニット

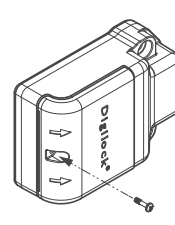
1



2



3



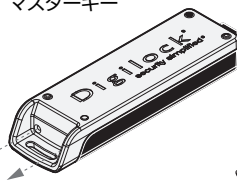
単 3 アルカリ電池 × 4 本（お客様手配）

マスターキー、プログラムキー（別売） マスターキー、プログラムキーは、出荷時に電池が入っていません。

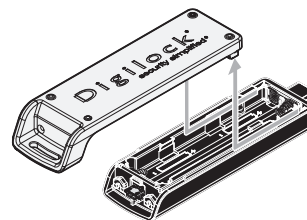
1

マスターキー

プログラムキー

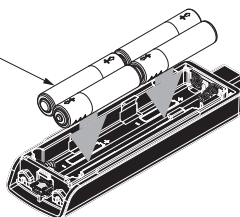


2

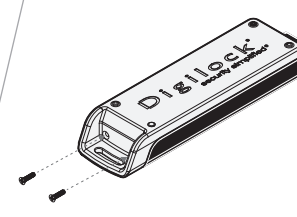
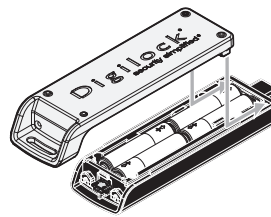


3

単 4 アルカリ電池 × 4 本  
（お客様手配）



4

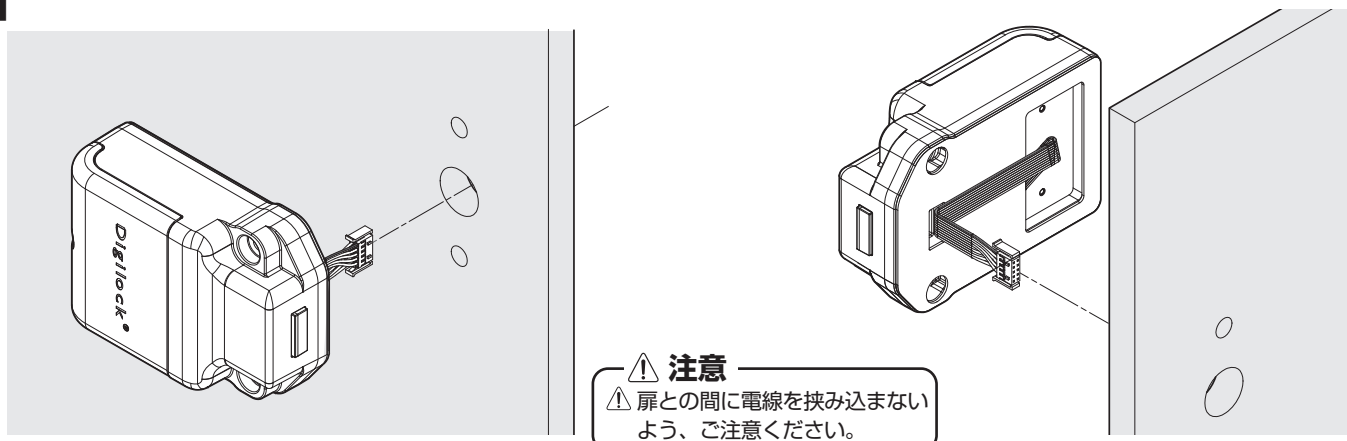


### ⚠ 注意

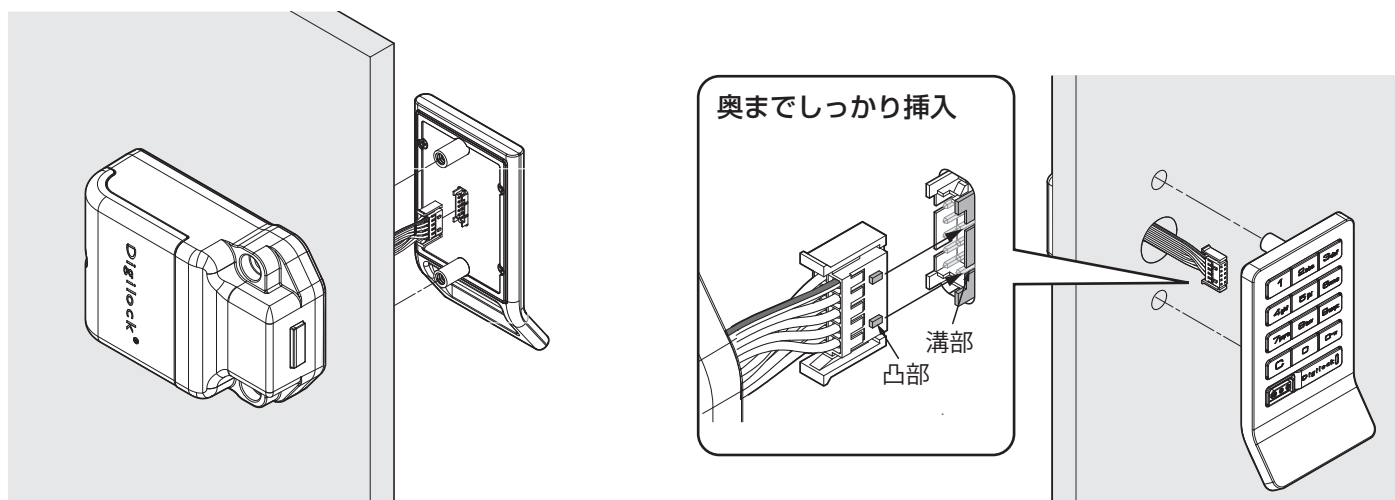
- ・電池は指定のものをご使用ください。発熱・液漏れ・破裂の原因になります。または漏電の原因になります。
- ・電池は、4 本同時に交換し、+-を間違わないように正しく挿入してください。

**取付手順** 本書では、テンキータイプ（パブリック仕様）でご説明します。これ以外の仕様の製品も取付方法は同様です。

1



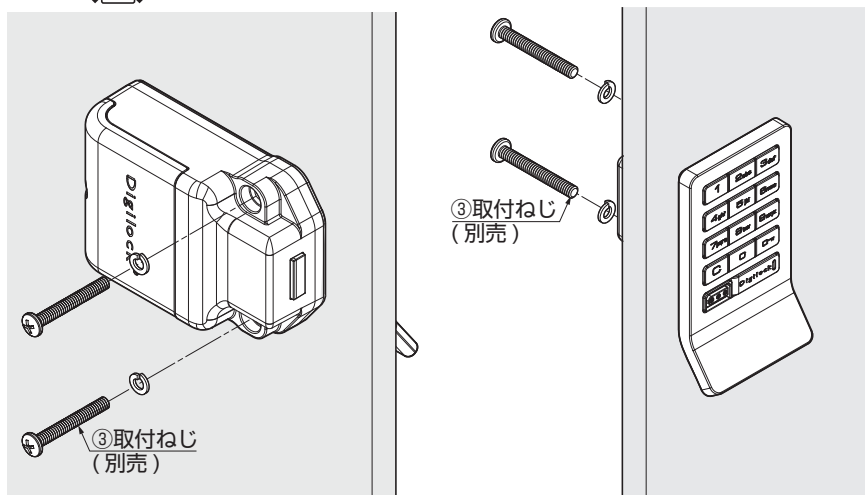
2



3



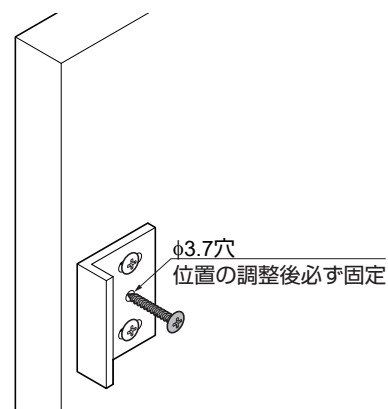
基盤が壊れる  
おそれがあります。



4

L型受座（オプション）を使用する場合、  
丸穴を必ず固定してください。

※固定しないと、故障の原因になります。



動作確認

カードタイプの場合、初期設定の直前に動作確認を行ってください。

